

令和7年度 国土交通大臣賞

募集締切
令和7年
5月30日(金)

<循環のみち下水道賞>

健全な水循環、資源・エネルギー循環を生み出す21世紀の下水道のコンセプト「循環のみち下水道」に基づく優れた取組みに対し、国土交通大臣表彰を行っております。

日ごろの取組みを広く発信できるこの機会に、ぜひご応募ください。

募集部門

New

上下水道一体部門

上下水道一体での効率化や
基盤強化等の取組

イノベーション部門

現場における創意工夫や
新技術の活用等の取組

防災・減災部門

災害対策における
ソフト・ハード面の取組

アセットマネジメント部門

施設の長寿命化や計画的な維持修繕、
事業運営、人材育成に貢献する取組

広報・教育部門

効果的な広報活動や
環境・防災教育等の取組

下水道の魅力
を伝える
絶好の
チャンス

下水道 × ?

= 循環のみち

イノベーション

防災・減災

広報・教育

上下水道一体

アセットマネジメント

循環のみち下水道賞応募について

○応募団体

以下の団体や事業者の方が対象です。

- ・地方公共団体
- ・民間事業者
- ・学校、教育機関
- ・水環境保全活動等を行っている
各種NPO、ボランティア団体、市民団体

○応募資料(提出いただくもの)

- ① 応募調書
- ② 審査様式
- ③ 審査様式補足資料(審査様式の内容を補足する資料)
- ④ その他(パンフレット等応募内容を説明する資料。提出は任意です。)

※ 応募資料については、募集開始以降、以下のURLに掲載します。

https://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000645.html

○提出方法

- ・地方公共団体の方：各地方整備局等へご提出ください。
(各地方整備局等でとりまとめた後、国土交通本省に提出されます。)
- ・民間団体等の方：事務局へ直接ご提出ください。

○応募・選定スケジュール(予定)

令和7年4月14日
募集開始

令和7年5月30日
募集締め切り

令和7年6月～8月中
選定委員会開催

令和7年9月10日頃
表彰式



こやり大臣政務官挨拶



集合写真

令和6年度表彰式

事務局 (お問い合わせ先)

〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3

国土交通省 水管理・国土保全局

上下水道企画課(上下水道審議官グループ)企画調整係長 鈴木、宇枝

代表：03-5253-8111(内線34-138) 直通：03-5253-8427 E-Mail：ueda-m2xf※mlit.go.jp

※を@に変えて送信してください

国土交通大臣賞「循環のみち下水道賞」について

「循環のみち下水道賞」の目的

循環のみち下水道賞は、下水道の使命を果たし、社会に貢献した好事例を表彰し広く発信することで、受賞者の功績を称えるとともに、他の多くの団体等が同様の取組を行うことで、健全な水循環及び資源・エネルギー循環を創出する「循環のみち下水道」の実現を全国的に図ることを目的とする。

「循環のみち下水道賞」の部門構成について

グランプリ

イノベーション部門

現場における創意工夫や新技術の活用等の取組

下水道が有する膨大なストック、水・資源・エネルギー、経験等を活かし、地球温暖化の防止、循環型社会の構築、世界の水と衛生・環境問題の解決、国際的なビジネス展開による新たな市場の開拓等、新しい価値の創造に貢献する取組。

アセットマネジメント部門

施設の長寿命化や計画的な維持修繕、事業運営、人材育成に貢献する取組

管理体制（人）、施設管理（モノ）、経営管理（カネ）の一体的マネジメントや人材の育成、技術力の維持・継承等により、下水道事業の持続に貢献する取組。

New

上下水道一体部門

上下水道一体での効率化や基盤強化等の取組

上下水道一体で効率化・基盤強化等を行うことにより下水道の相乗効果が発揮した取組。

防災・減災部門

災害対策におけるソフト・ハード面の取組

大規模災害（地震、津波、異常豪雨等）時においても、国民の健康・生命・財産及び経済活動を保護・保全するため、下水道による強靱な社会の構築に貢献する取組。

広報・教育部門

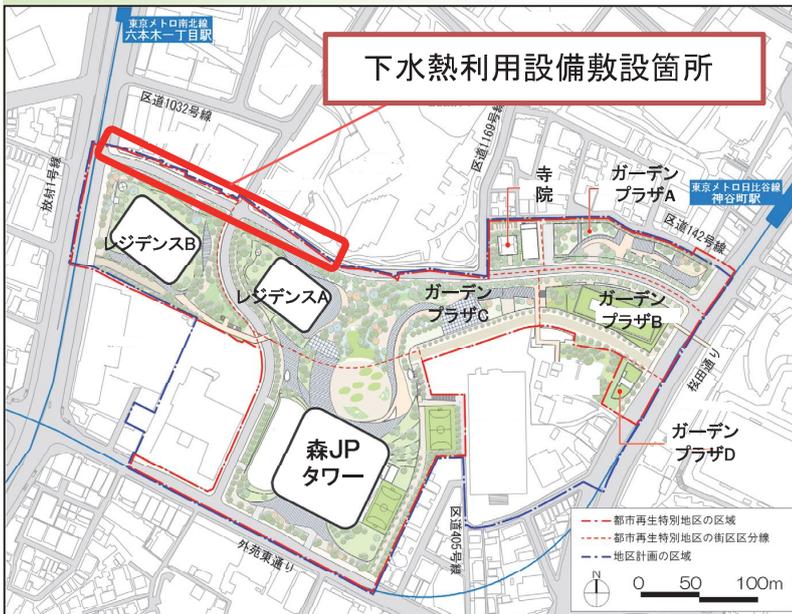
効果的な広報活動や環境・防災教育等の取組

下水道の役割、重要性、魅力、可能性等に気づき、共感し、行動してもらうための効果的な広報活動や環境・防災教育の取組。

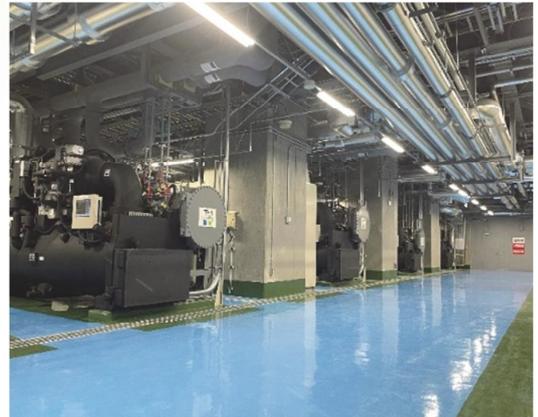
虎ノ門エネルギーネットワーク(株)の取組

麻布台ヒルズにおける下水熱利用

- 麻布台ヒルズは、市街地再開発事業として、約8.1haもの広大な計画区域を有し、緑化面積は約2.4haに上り、プロジェクトのコンセプトとして「緑につつまれ、人と人がつながる『広場』のような街“Modern Urban Village”」を掲げ、「都市の低炭素化」や「生物多様性の保存」、「省エネルギー化」など様々な課題に対する1つの解を提案しています。
- 熱供給事業者となる当社は、森ビル株式会社と東京電力エナジーパートナー株式会社による合弁会社であり、麻布台ヒルズにおいて、**独自の電力・熱のネットワークを構築**し、エネルギー供給を担っています。
- 市街地再開発組合の承認工事により下水道管を新設し、当社が下水道管理者である東京都下水道局の許可を受けて、下水道管に熱交換器を設置しました。
- 本設備により**下水の熱を回収し、エリア内のオフィスビル等需要家の冷暖房の熱源の一部として利用**しています。



麻布台ヒルズ案内図



熱供給プラント



下水道管内に設置した熱交換器

取組の効果！

本事業の効果として、下水熱を利用した空調システムを使用することにより、一般的な空調システムと比較して、**温室効果ガスを年間約 70t-CO₂ 削減**することが可能となり、都市の環境負荷低減に貢献しています。

Key Person



東京都下水道局計画調整部
エネルギー・温暖化対策推進担当課長
池田 亘宏

- ・本事業では、下水熱を活用し、従来の空調システムと比較して電力や燃料の使用量を低減させることで、温室効果ガス排出量を削減することができました。
- ・令和5年3月に策定した下水道事業における地球温暖化防止計画「アースプラン2023」の中では、取組方針の一つとして、他分野との連携により、地域への下水熱供給などを推進し、社会全体の温室効果ガス排出量の削減に貢献することとしています。
- ・今後も下水道事業以外の他分野と連携し、下水道資源を有効活用し、社会全体の温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいきます。